

< 年中行事と和菓子 >

端午の節句 柏餅と粽

5月5日は端午の節句。「こどもの日」として男の子の健やかな成長を願い、鯉のぼりを掲げ、兜などを飾ったり、菖蒲湯につかったり、粽（ちまき）や柏餅を食べて祝います。今回は端午の節句のルーツとともに、粽や柏餅の由来についてご紹介いたします。

■ 端午の節句のルーツは？

端午の節句のルーツの一つは中国にあります。中国の古い暦では、5月は午の月。午の月の午の日を忌日として、厄災から免れ、また不浄を除く祓えの行事を行っていました。季節的にも雨季を迎えることなどから、この時期の祓いは特に大切にされ、やがて「午」が「五」と同音であることや、奇数の重なりを好む重日思想から、5月5日に定着していきました。ちなみに5月5日を「端午」と呼ぶのは、「午の月の初め（端）の午の日」からきています。

一方日本では、5月は早苗月。つまり田植えの月であり、農耕が生活の軸にあった私たちにとって、田の神を迎える大事な月でした。

このような中国由来の行事と、日本古来の風習とがしだいに融合していきました。菖蒲が厄祓いとして使われるようになったのは、平安時代のころです。厄祓いのため菖蒲を軒に挿すようになりました。やがて、「菖蒲」の読みが「尚武」に通じることから、菖蒲で作った兜を飾るなど武家の祝うところとなり、江戸時代には男子の節句として定着していったようです。

■ 粽の由来は？

端午の節句に食べる粽は、平安時代には宮中行事でも使われていました。この粽の起源として知られているのが、中国の屈原（戦国時代紀元前4～3世紀頃）の故事です。

楚の国の有能な政治家・詩人の屈原は、王の乱行を諫めようとしましたが聞き入れられず、失意のうちに汨羅の淵に身を沈めました。人々はこれを哀れみ、5月5日の命日になると竹の筒に米を入れて川に投げ、供養としました。しかし、竹筒の米が汨羅に住む蛟竜にみな食べられてしまうので、その後、米を香りがある楝（センダン）の葉で包み、五色の糸でしばるようになったということです。これが粽の始まりといわれています。

■ 柏餅は縁起がいい？

柏餅が端午の節句菓子として定着するのは、江戸時代の寛文年間（1661～73）頃の江戸からといわれています。なぜ柏の葉を使うのでしょうか？ 柏は新芽が出るまで古い葉を落とさないことから、家系が絶えない意があるとされています。武家や町家では庭に植える習いがあり、縁起菓子として親しまれる所以といわれています。

< とらやのお菓子情報 >

● 柏餅... 御膳餡(こし餡)と味噌餡の2種

上質の小豆の風味豊かなこし餡と、香り豊かな京都の白味噌で仕立てた程よい甘さの味噌餡の2種類をおつくりしています。

価 格: 1個 284 円(税込)

販売期間: 2008 年 4 月 21 日 ~ 5 月 5 日

● 粽... ちまき

羊羹粽、水仙粽、白下糖入外良粽(関西地区では白下糖の入らない外良粽)の3種

小豆の風味を生かした羊羹粽。最上級の吉野葛を使った口解けの良い水仙粽。

日本古来の和三盆糖の原糖である白下糖を用い、すっきりしたなかにもコクのある味が特徴の白下糖入外良粽。

価 格: 1本 378 円 / 3本束 1,134 円(各種1本ずつの束もございます) / 5本束 1,890 円

販売期間: 2008 年 4 月 27 日 ~ 5 月 5 日

柏餅・粽の主な販売店:

赤坂本店、東京ミッドタウン店、銀座店、日本橋店、帝国ホテル店、御殿場店、
横浜ランドマークプラザ店、新宿伊勢丹売店、アトレ目黒1売店、横浜そごう売店、
二子玉川高島屋S.C.売店、一条店、四条店、京都高島屋売店、京都大丸売店

柏餅・粽ともに上記の販売店以外でも販売いたします。

店舗により販売期間が異なりますので詳細はお問い合わせください。

● 端午の節句にちなんだ羊羹 (配送可能商品)

さつまいも
五月のぼり 小倉羊羹『夜の梅』(鯉のぼり)、抹茶入羊羹『新緑』(菖蒲)、黒砂糖入羊羹『おもかげ』(兜)の3種
端午の節句限定パッケージの小形羊羹です。

価 格: 各1本 210 円 / 化粧箱5本入 1,155 円

あやめ
菖蒲あわせ 平安時代の遊戯「菖蒲あわせ」にちなみ、咲き匂う菖蒲の花を表現した中形羊羹です。
パッケージは菖蒲の姿を優雅にちりばめたデザインになっています。

価 格: 1本 1,953 円

販売期間: 2008 年 4 月 7 日 ~ 5 月 5 日

五月のぼり・菖蒲あわせの販売店: すべてのとらやの店舗

価格はすべて税込金額です



柏餅
写真左: 御膳餡
右: 味噌餡



粽



写真上: 五月のぼり
下: 菖蒲あわせ

上記の内容を掲載・放送して下さる場合...

読者・視聴者の皆様からのお問い合わせ先は、フリーダイヤル 0120 - 45 - 4121 として下さい。

この件に関するお問い合わせ・取材は ... 株式会社虎屋 広報部 03 - 3408 - 4128 までお願い致します。